

# Microsoft Exchange Onlineの基本認証「SMTP認証」の廃止に伴う 先進認証「OAuth 2.0」への対処方法

## ■ 本件に該当するかの確認方法

奉行製品で、メールサーバーの設定値を確認して、本件に該当するかどうかを判断します。

※複数の奉行製品を運用している場合は、**いずれか1製品で確認します。**

### 1.



[管理ツール - メールサーバー設定] メニューを選択します。

- ※ [メールサーバー設定] メニューが表示されない場合  
下記のどちらかの管理ツールを利用しているため、そのメニューで確認します。
  - ・『運用管理ツール』  
[運用環境管理 - メールサーバー設定] メニュー
  - ・『OBC Management Studio』  
[運用環境管理 - メール設定 - メールサーバー設定] メニュー

管理ツールを利用していないにもかかわらずメニューが表示されない場合は、メニュー権限が付与されている利用者で確認します。

- ※ 『BACKUPオプション』を単体でお使いの場合  
[運用環境管理 - メール設定 - メールサーバー設定] メニューで確認します。

※『勘定奉行』の画面を例にしています。

### 2.



[メールサーバー設定] 画面の [基本設定] ページで、左記の①②を設定しているかを確認します。

#### ● 設定している場合

本件に該当します。

セットアップと設定の変更が必要なため、**次ページの「■対処方法」を実施します。**

#### ● 設定していない場合

本件に該当しません。

**次ページの「■対処方法」は必要ありません。  
セットアップせずに、現在のまま利用できます。**

項目名	値
① SMTPサーバー名	smtp.office365.com
② 認証方式	SMTP認証

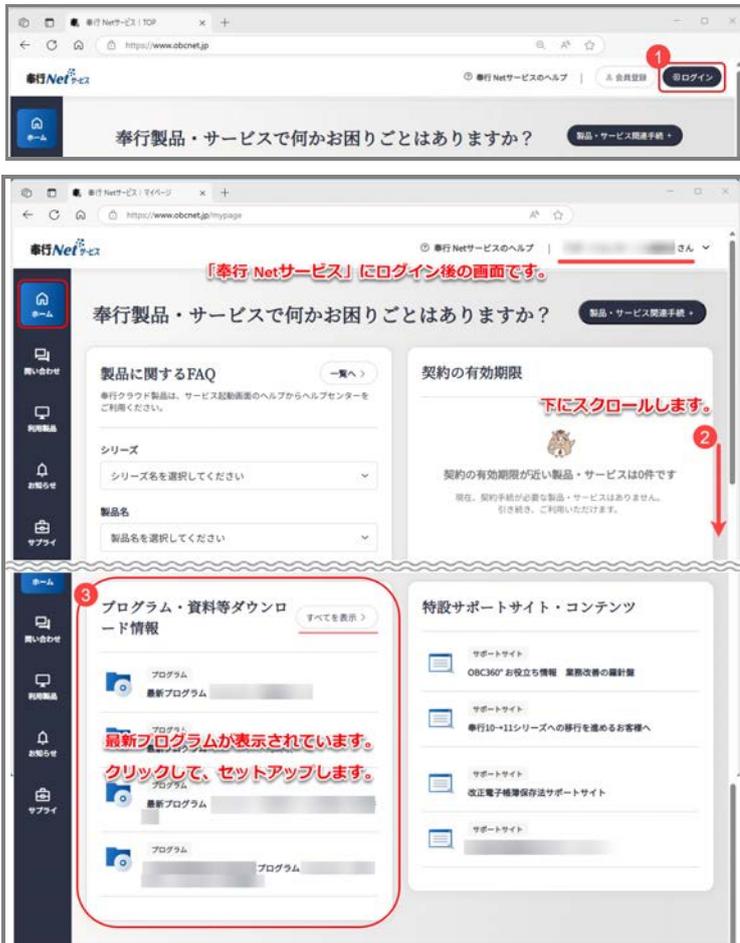
## ■ 対処方法

本件に該当している場合は、メール送信機能を使い続けられるように次のStep1～Step3の順番で対処します。

- Step1 奉行製品の最新プログラムをセットアップする  
※複数の奉行製品を運用している場合は、すべての製品をセットアップした後、Step2に進みます。
- Step2 Microsoft社のExchange Onlineで、先進認証「OAuth 2.0」を設定する
- Step3 奉行製品で、メールサーバーの設定を変更する

### Step1 奉行製品の最新プログラムをセットアップする

奉行 NetサービスのWebサイト (<https://www.obcnet.jp/>) にアクセスします。



① トップページの右上に [ログイン] ボタンが表示されている場合は、[ログイン] ボタンをクリックしてログインします。

② 下にスクロールします。

③ 「プログラム・資料等ダウンロード情報」に最新プログラムが表示されています。クリックして、ダウンロードしてセットアップします。

※複数の奉行製品を運用していて、【対象製品】に該当する製品の最新プログラムが表示されない場合は、「プログラム・資料等ダウンロード情報」右側の「すべてを表示」をクリックしてください。

複数の奉行製品を運用している場合は、【対象製品】に該当するすべての製品をセットアップした後、Step2に進みます。

※『運用管理ツール』は、利用している場合だけセットアップします。利用していない場合はセットアップは不要です。

利用しているかの判断は、1 ページ目「■本件に該当するかの確認方法」の「1.」の手順で、奉行製品に [メールサーバー設定] メニューが表示されずに、『運用管理ツール』のメニューで確認した場合が該当します。

## Step2 Microsoft社のExchange Onlineで、先進認証「OAuth 2.0」を設定する

Exchange Onlineの設定は、メールサーバーの環境を構築した管理者、または販売店のご担当者様にご相談ください。

## Step3 奉行製品で、メールサーバーの設定を変更する



- ① [管理ツール - メールサーバー設定] メニューを選択します。  
1 ページ目「■本件に該当するかの確認方法」の「1.」と同じ手順で、メニューを選択します。

※複数の奉行製品を運用している場合

[メールサーバー設定] メニューの設定は奉行製品で共通なため、いずれか1製品で設定します。



- ② [メールサーバー設定] 画面に、Step2で設定したMicrosoft社のExchange Onlineの内容を入力します。

※適切に設定できたかを確認する場合は、[テスト送信] ボタンをクリックします。

